

【4月 卯月(うづき)】

春たけなわ。入園・入学式など、新しい生活が始まる月。初めての場所にどきどきしながらも、新しい一歩を踏み出す月。七十二候(季節ごとに起こる自然の出来事をその季節時期の呼び名としたもの)では、「つばめきたる玄鳥至」こうがんかえる「鴻雁北」の時期だ、などと言うこともあります。渡り鳥がそれぞれ、もといた場所に移動する月でもあるのです。

<4月の行事>

初旬	お花見
5日ごろ	入園・入学式
29日	昭和の日
	イースター

花見

「花見」と聞くと何の花を思い浮かべますか？「桜」をイメージする人が多いのではないのでしょうか。満開の桜、散る桜、桜吹雪に夜桜…一口に花見といっても、タイミングによって桜の様々な表情を楽しむことができますね。

実は、奈良時代までは、「花」といえば「梅の花」のことを指していました。今では当たり前の「花見」の歴史も、奈良時代までさかのぼります。



歴史

日本の花見は奈良時代の貴族の行事が起源だといわれています。初めは中国から伝来した梅が鑑賞されていましたが、平安時代に桜に代わってきました。「花」が桜の別称として使われ、女性の美貌が桜に例えられるようになるのも、この頃からです。

その後、貴族の間で広まり、宮中で天皇主催の定例行事として取り入れられるようになりました。

鎌倉・室町時代には武士階級に広がり、庶民に広まったのは江戸時代と言われています。

江戸時代には桜の品種改良が盛んに行われ、現在、最も多く見られる「ソメイヨシノ」もこの時代に誕生しました。

明治時代には戦争の影響により桜が燃料にされ、品種が激減しました。しかし、高木孫右衛門という植木職人の手によって80以上の品種が守られ、その後、全国各地に広がっていき、今や世界の人々をも魅了し続けています。

花の美しさを楽しむだけでなく、その歴史にも思いを馳せながら鑑賞してみたいかがでしょうか。

日本三大〇〇

◆「日本三大桜の名所」

それぞれ地域一帯の桜が、桜の名所としてされています。

- ・青森県の^{ひろさき}弘前公園
- ・長野県の^{たかとおじょうし}高遠城址公園
- ・奈良県の吉野山

◆「日本三大桜」

それぞれ一本の桜の木が、名桜として指定されています。

- ・福島県の^{みはるたきざくら}三春滝桜
- ・山梨県の^{しんだいざくら}神代桜
- ・岐阜県の^{うすずみざくら}淡墨桜

世界でも花見!?

世界各地には、日本から桜が寄贈され、花見や桜祭りが行われているところがあります。

◆アメリカ

首都ワシントン D.C. のポトマック河畔。東京から寄贈された桜が植えられており、全米桜祭りが毎年行われています。

◆デンマーク

コペンハーゲンのランゲリニエ公園。広島市のアンデルセンが寄贈した2列の桜並木があり、桜祭りが行われます。

◆ブラジル

サンパウロのカルモ公園。約4000本の桜があり、8月初旬の見頃の時期に合わせてさくら祭りが開催されますが、七夕祭りの時期でもあるため、短冊が満開の桜の枝にくくりつけられるという独特の風習もあります。

イースター

キリスト教由来の行事「イースター」を知っていますか？日本では、クリスマスほどまだ馴染みがないかもしれません。

イースターには、イエス・キリストが起こしたとされる奇跡が関連しています。キリストは、弟子であるユダに裏切られ、十字架にかけられ処刑されてしまいますが、「イエス・キリストは復活する」という予言どおり、3日後に復活したという奇跡を起こしたのです。

これは、キリストが生涯で起こした奇跡の中で、最大の奇跡と考えられています。キリストの弟子たちが喜び、それがイースターというお祭りになったといわれています。「復活祭」とも呼ばれます。英語の「Easter(イースター)」の由来は、古代ゲルマン神話の春の女神の名前「Eoster(エオストレ)」からきているのだそうです。

これは、春を象徴する女神のイメージが共通することからだと考えられています。イースターには、春の訪れを祝う意味も含まれているようです。



時期

毎年、「春分の日」の後の、最初の満月の日の翌日曜日」と決められており、その年によって日にちが違います。

ちなみに、2022年は4月17日がその日にあたります。

イースターエッグ

イースターの日にはよく、カラフルに色づけされた卵や、卵の形のお菓子が店頭に並びます。また、春にたくさん子どもを産むウサギも新しい命の象徴とされています。ドイツの古い話には、イースターの朝に見かけたウサギの足元に卵があり、その様子を見た子どもが「ウサギが卵を産んだ」という奇跡が起きたと思ったという話もあるようです。

また、隠された卵を探し、誰が一番多く集められるかを競う「エッグハント」や、卵の殻を破らないように転がして遊ぶ「エッグロール」、スプーンの上に卵を乗せてゴールまで運ぶ「エッグスプーンレース」などの遊びをすることがあり、イースターの楽しみの1つとなっています。

イースターエッグの色の意味

赤	キリストの血の色 太陽、幸福、情熱	オレンジ	強さ、力 持続	黄色	知恵、ひらめき
ピンク	成功	青	空、健康	緑	豊穡、子孫繁栄 あふれる希望
紫	信頼、忍耐	白	清浄、誕生 純潔		

イースターエッグの模様の意味

星	キリスト、厄除け	太陽	生命、情熱 成長、富	木	繁栄
麦	豊穡	波	富、永遠	ハビ	魔除け、永続性
魚	キリスト教の シンボル	カエル	恵、女性 若さ、美しさ	農耕 器具	土の恵み、結婚